



世界への興味がより湧いた

わにかわかずき
鱈川一輝さん
(18) 三郷温



今回この交流会に参加して世間や世界に対する自分の価値観が変わりました。最初は外国の人は少し怖いイメージがあったのですが、実際にクラムザッハの人たちと交流すると本当に優しく、親しみやすくてびっくりしました。滞在中、ユースクラブ「Mikado」の人とビリヤードを一緒にやり交流しました。僕はビリヤードをするのが初めてでルールも知らなかったのですが英語で丁寧に教えてくれ、初対面でも一緒に楽しくできてうれしかったです。クラムザッハに滞在したのは4日間でしたが、本当に内容の濃い4日間です。クラムザッハをたつ朝は本当に寂しく、もっと長い間いたいし、友達も作りたかった、という気持ちになりました。今回、異国の地でそのような経験をして世界への興味も以前にも増して湧いてきたように思います。そして機会があればまたゆくりとクラムザッハに行きたいです。



⑤⑥町内にある国立ガラス学校を見学。学生は4年間学びます⑦学生作品



⑧⑨⑩チロル農業博物館では昔の農家の暮らしの様子を体験



⑪地元のユースクラブ「Mikado」との交流
⑫お世話になったお礼を込めた答礼夕食会には記念品をいただきました



ドイツ語を堪能に

ながさきゆり
長崎由梨さん
(17) 堀金鳥川



今回私は初めてオーストリアに行き、滞在中は驚きや発見の連続でした。中でも印象に残ったのは美しいアルプス山脈と、クラムザッハの人々のあたたかさでした。

クラムザッハの役場の皆さんは活発で元気だなと思いました。バスでは学校の友人同士のような雰囲気、大人でもこんなに無邪気な人たちがいるんだと新鮮な驚きでした。それからクラムザッハの高校生たちも朗らかで、目が生き生きしていたのがとても印象的でした。

滞在中は、もっとドイツ語ができればかなり楽しいだろうと思いました。また、現地のドイツ語に連日触れてもって理解したいという意欲が高まり、「ドイツ語を堪能にすること」が目標になりました。これを達成すれば再びクラムザッハを訪れたとき、今回出会った人たちとたくさん楽しい思い出をつくれると思います。



⑬村上副市長が安曇野を紹介する冊子などを手渡しました
⑭町長室前に飾られた姉妹都市提携書

①町役場前では着物姿での歓迎を受けました
②シュテーター町長と握手する村上副市長



人のつながりの素晴らしさを実感 姉妹都市の強い絆きずな

姉妹都市の強い絆を実感

くろいわゆうじ
黒岩裕士さん
(16) 三郷明盛



今回の旅ではクラムザッハと安曇野市との強い絆というものを実感できました。最初は見知らぬ地で交流することに不安がありました。空港に迎えに来てくれた皆さんの笑顔はその不安を取り除くには十分でした。思い出せば見る景色が新鮮で、経験することが楽しい毎日でした。とても親しく接してもらったので、クラムザッハの皆さんとの会話は小さなことでも楽しく、つい時間を忘れてしまうほどでした。特に最後の日の答礼夕食会の時は音楽の演奏、プレゼント、話したことを今でも鮮明に覚えています。別れる際には急に寂しくなり涙が出そうになりました。こうした直接人がかかわり絆を深める国際交流はとても大切だと思いました。そしてクラムザッハの皆さんとの交流、経験は自信になりました。もっと世界に出てみたいと思いました。この交流事業で得たものはとても大きいです。ほかの若者にもぜひ行ってもらいたいと思っています。

会話をする楽しさを感じた

ながさきえり
長崎恵理さん
(17) 堀金鳥川



ヨーロッパに行くのは初めてで出国日が近づいても実感がわかず、私は遠い先の事のように感じていました。しかし、それはドイツの街並みを空から眺めた時、突然、現実化したのでした。

クラムザッハでは習いたてのつたないドイツ語が通じた時は安心しました。しかし、相手が話していることを理解するのは本当に難しいと思いました。どうすれば自分の伝えたいことを相手が理解してくれるか考え、英語とドイツ語とジェスチャーを交えながら懸命に話しました。私は彼らに会う前、緊張して上手に英語やドイツ語が話せないかもしれないと、不安でした。しかし、彼らは気軽に話しかけてくれ、すぐに打ち解けることができました。そのおかげで自分の語学力の不足を気にせず会話ができました。

今回の交流を通して、外国の人に自分から積極的に話をする楽しさを感じることができました。

